

令和元年度 専門課程 河川情報の活用〔CommonMPの実践〕研修 実施計画

国土交通大学
測量部 地理空間情報科

1. 研修目的

水・物質循環解析ソフトウェア共通プラットフォーム（CommonMP）の演習による水理解析技術の向上を図り、河川計画・河川管理に関する地理空間情報の利活用を理解させることを目的とする。

以下の点を重点項目とする。

- ① CommonMPを用いた流出計算・河道計算により、流域の流出特性、河道の流下能力などの解析技術を修得
- ② 河川計画・河川管理に用いられる地理空間情報の整備・利活用の理解

2. 対象者

国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市又は独立行政法人等において、河川に関する業務を担当し、水理解析に関する知識を必要とする者

3. 研修期間

令和元年 11 月 18 日（月）～ 令和元年 11 月 22 日（金）（5 日間）

4. 研修定員

区 分	国土交通省	他府省	地方公共団体	独立行政法人等	団体	合計（人）
令和元年度計画	16	1	2	1	0	20

5. カリキュラム

講義内容は別紙のとおり。

① 実習

貯留関数法流出モデル、準二次元不等流計算モデルによる河川水位計算を行わせる。

② 課題研究

研修員の CommonMP に関する習熟度に応じて班に分けて、流域の流出特性分析、河道の流下能力確保についての課題に取り組み、その結果を発表させる。

6. テキスト代（予定）

8, 000 円

令和元年度 専門課程 河川情報の活用〔CommonMPの実践〕研修 教科目一覧

区分	教科目	講師	時間数	備考
基本科目	河川行政の現状と今後の展望	国土交通省水管理・国土保全局 河川計画課河川情報企画室 室長	1.5	最近の河川行政の動向について
	小 計		1.5	
専門科目	CommonMPの基本	国土技術政策総合研究所 河川研究部水循環研究室 主任研究官	1.5	CommonMPの概要
	航空レーザ測量(LP)による 精密地形データの整備と利活用	国土地理院基本図情報部 画像調査課 課長補佐	1.5	精密地形データの整備と利活用
	地理院地図の概要とその利活用	国土地理院地理空間情報部 情報普及課係長 情報企画課係員	1.5	地理院地図を利用した情報活用・発信について
	大学の立場で見た現場での CommonMPの意義と活用	東北大学大学院工学研究科 教授	1.5	CommonMPの有用性、“学”の立場からの意義、国交省の現場での活用と効果
	住民自らの行動に結びつく 水害・土砂災害ハザードリスク 情報共有プロジェクト	国土交通省水管理・国土保全局 河川計画課河川情報企画室	1.5	水害・土砂災害の逃げ遅れによる犠牲者ゼロを目指す当プロジェクト概要
	小 計		7.5	
実習	実習 CommonMPの利用	国土技術政策総合研究所 河川研究部水循環研究室 主任研究官、研究員 (株)東京建設コンサルタント部長代理	7.0	CommonMPの基本操作及び応用操作等の実習
	小 計		7.0	
課題研究	課題研究・課題操作	国土技術政策総合研究所 河川研究部水循環研究室 主任研究官、研究員 (株)東京建設コンサルタント部長代理	4.0	CommonMPの与えられた条件による貯留関数、準二次元不等流計算等の実習
	課題研究	国土技術政策総合研究所 河川研究部水循環研究室 主任研究官、研究員 測量部 教官	8.5	CommonMPの課題操作実習の成果発表
	小 計		12.5	
その他	入校式・修了式	国土交通大学校総務部教務課等	1.5	
	小 計		1.5	
合 計			30.0	